

仙台教区サポートセンター

福島デスクニュース

第17号 2015年9月

作成: 仙台教区サポートセンター福島デスク
〒975-0001
福島県南相馬市原町区大町 2-197
fukushima.desk@gmail.com
Tel/Fax 0244-32-1531
080-5872-4447
<http://fukushimadesk.blogspot.jp/>

福島の秋

車を走らせると、道の両側には天候不順な夏を乗り切った稲穂が、黄金色に輝く。稲刈りを待つばかりである。8月18日、二本松市で早場米の収穫が始まり、1万袋（玄米30キロ入り）が全量全袋検査に合格した。いずれも測定器の下限値である25ベクレル/kg未満で、厚生労働省の一般食品の放射性セシウムの基準値100ベクレル/kgを下回った。今年も、約1200万袋の玄米が県内170カ所のベルトコンベア式検査機で全量検査を受ける運びである。



子どもたちの未来に向き合う CTVC カリタス原町ベース

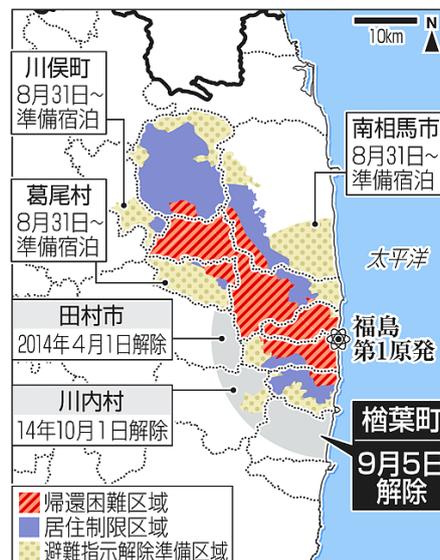


南相馬市は、東京電力福島第一原発のある双葉郡の北に位置します。2015年度4月、南相馬市の園児・児童・生徒の人数は、定員の約60%程度にとどまり、子どもを持つ若い親の世代が震災前より、少ないことがわかります。その理由には放射線への心配・不安があります。

色々な事情で、不安を感じながらも、この地に住み、働いている若い家族を支援するひとつとして、カトリックさゆり幼稚園との関わりがあげられます。若い母親の安

心は子どもの安心、家族の安心に繋がります。被災前には85人の園児がいましたが、家族からの要請に応じて、幼稚園を再開した、2011年11月1日には、11人でした。2015年9月現在、49人の園児と職員4人（事務1人含む）で運営されています。

南相馬での交通手段は自家用車です。除染は実施されましたが、子どもたちが歩く道の側溝は線量が高いこともあり、小学校によっては、家から学校までの送迎を保護者の方へお願いしているところもあります。幼稚園児は勿論、送迎が必要なことから、CTVC カリタス原町ベースへの依頼がありました。併せて、放課後の見守りの依頼もあり、2015年1月から、先ず、放課後の見守り活動を始めました。また、送



迎については、「2015年4月から幼稚園児の送迎を始めます！」と予告したことで、園児が増えました。「幼稚園のバスが必要!!! 運転手と見守り保育のスタッフが雇えるようになるためにも、皆様のご支援をお願いします！」とお伝えすることも、私たちの使命と考えています。



福島県浜通りで、福島第一原発から25km圏内にあるカトリックの教会と幼稚園は、原町教会とさゆり幼稚園だけです。ある時、園児を持つ若い家族が、教会と幼稚園という接点で私たちと繋がっていることに、神様からのメッセージがあると確信したのです。

幼稚園からの要請の声が私たちに届くのに、2年近くもかかってしまいました。まず、私たちの身近なところで、被災した皆様のニーズのうち、私たちにもできることを始めていくことの大切さと責任の重大さを日々痛感しています。

子供たちの未来を想像してみた時、今関わる子供たちが大人になったときに、あの時、シスター達がいた、教会で歌を歌った、一緒に過ごした時間を思い出して、勇気が出たり、励まされたり、癒されたりしたら、そして、その奥に神様がいてくださったんだと理解していってくれたらと思わずにはいられません。(CTVCカリタス原町ベース)

原発事故関連の自殺、後絶たず 高齢の避難者が目立つ

内閣府のまとめ(下表参照)では、今年1月から7月末までの大震災・原発事故に関連する福島県内の自殺者は11人に上った。11人の内10人が避難者で、仮設住宅の入所者は二人だった。年代別では70代が4人、60代が3人と続く。避難生活が4年半と長期化する中で、心身の健康に影響を及ぼしていること、また、復興が目に見える形で進んでいないこと等が背景に考えられる。仮設住宅から災害公営住宅への移行期、さらなる支援体制の充実が望まれている。

なお、被災3県の震災関連自殺者数は、岩手県33人、宮城県40人、福島県72人である。

	自殺者数	性別		年代別(人)							
		男	女	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
2011年	10	7	3	0	1	1	0	4	2	0	2
2012年	13	8	5	0	2	1	0	3	3	2	2
2013年	23	15	8	0	2	3	1	6	2	3	6
2014年	15	10	5	1	1	1	0	4	6	1	1
15年7月末	11	8	3	0	1	0	2	0	3	4	1
合計	72	48	24	1	7	6	3	17	16	10	12

「東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に関連する県内自殺者の内訳」
(福島民報 2015年9月8日号から抜粋)